

スポーツパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

- 注意** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

必ずお読みください。
<ul style="list-style-type: none">必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。 万一、スポーツパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。 スポーツパックおよび内部機材に対するソニー水中機材損害保険を用意してあります。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。

SPK-TRC

Sony Corporation ©2002 Printed in Japan

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る

- 故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する
- 万一異常が起きたら

変な音やにおいがしたら、煙が出たら	<div>1</div> <div>2</div>	電源を切る <p>お買い上げ店または、ソニーサービス窓口に修理を依頼する</p>
-------------------	---	---

- 注意** 下記の注意事項を守らないと、**けが**をすることがあります。

陸上で運ぶときに落とさないけがの原因となることがあります。



衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

禁止 行為を禁止する記号

- 注意** 下記の注意事項を守らないと、**けが**をすることがあります。

陸上で運ぶときに落とさないけがの原因となることがあります。



衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



はじめに

お手持ちのソニービデオカメラレコーダーに本機を取りつけると、雨天時や海辺、水中では2m以内)での撮影ができます。ただし、波が高い場所でのご使用はお避けください。

使用可能機種 DCR-TRV110、TRV220、TRV240、TRV300、TRV310、TRV620
CCD-TR1、TR2、TR3、TR11、TR12、TR230、TR250、TR270、TR280、TR290、TR555、TR3300
CCD-TRV11、TRV20、TRV30、TRV45、TRV60、TRV66、TRV71、TRV80、TRV85、TRV91、TRV92、TRV95、TRV101、TRV201

取り扱い上のご注意

- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのスポーツパックの開閉はできるだけ避けてください。ビデオカメラレコーダーの取り付けやテープ交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 高温多湿な場所でスポーツパックの開閉をした後、寒い所や水中へ持っていくと、スポーツパック内部で結露現象が起こり、ガラス面が曇ったり、ビデオカメラレコーダーの故障の原因となります。
- スポーツパックの防水性能は、防水パッキン、およびその接触面で保たれています。これらの部分に物をぶつかけたり、異物をはさみこんだりして傷をつけないよう、充分注意してください。
- 炎天下に長時間放置しないでください。内部の温度が上昇し、ビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 40℃を越える温水の中では使用しないでください。水漏れの原因になります。
- 周囲温度約40℃のご使用は、連続1時間以内にしてください。約35分で連続撮影が可能です。
- 直射日光の当たる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。
- スポーツパックを水中に投げ込まないでください。
- 寒冷地でお使いの時は、バックなどに入れて極端に冷えないようにし、撮影するときのみバックから出して使用するようにしてください。
- 周囲温度0℃以下のご使用はおすすめできませんが、どうしてもご使用になる場合は、スポーツパックを保温材などで包んでください。

- 防水パッキン交換後の水もれの確認方法
防水パッキン交換後はビデオカメラレコーダーを収納する前に、スポーツパックを閉じて、水中(15cm位)に約3分間沈めて、水もれがないことを確認してください。

使用後の開けかたについて

スポーツパックを開けるときは、スポーツバックと身体についた水分を充分にふき取ってから開け、水滴が内部のビデオカメラレコーダーにかからないようにご注意ください。

スポーツバックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、スポーツバック表面の変色やダメージの原因となります。

水もれについて
万一内部に水滴などが確認された場合は、なるべく早く水から上げてください。ビデオカメラレコーダーが濡れた場合は、至急お近くのソニーサービス窓口へお持ちください。

防水パッキンについて
•防水パッキンの傷やヒビ割れは浸水の原因になります。防水パッキンを溝からはずすときに、とがったものや金属を使うと、溝に傷をつけるおそれがありますので使用しないでください。傷ついたら直ちに新しいものと交換してください。
•防水パッキンを装着するときは、防水パッキン全面にグリスを薄く塗り、とがった方を上にしてねじれたりしないように注意しながら入れてください。

保管するときは
•防水パッキンの劣化を防ぐため、ボディを閉じたあとバックルは締めないでください。

•防水パッキンにホコリがつかないようにしてください。

•高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材をいためますので避けてください。

お手入れのしかた

海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水(水道水など)で洗い、塩分を落としてから、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。塩分がついたままにしておくと、金属部分がさびることがあります。スポーツバック内部は、乾いた柔らかい布でふき、水洗いしないでください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。

ガラス面のくもり防止について
スポーツバックの前部のガラス面に、付属のくもり止めリキッドを塗布すると、ガラス面のくもり防止に効果があります。

保管するときは

- 防水パッキンの劣化を防ぐため、ボディを閉じたあとバックルは締めないでください。
- 防水パッキンにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材をいためますので避けてください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

音声が記録されない
ビデオカメラレコーダーのマイク端子にマイクプラグをしっかりと差し込む。
スポーツバック内部に水滴がつく
バックルをカチッとロックされるまで締める。
防水パッキンを正しく装着する。
防水パッキンに傷、ヒビ割れが入っている場合、新しいものと交換する。
撮影ができない
バッテリーパックを充分に充電する。
リモートプラグをLANC(リモート)端子にしっかりと差し込む。
テープが終わりになっている場合、別のカセットを入れる。またはテープを巻き戻す。
カセットの誤消去防止つまみを戻す。または別のカセットを入れる。

主な仕様

材質
プラスチック(PC、ABS)、ガラス
防水構造
防水パッキン、バックル
耐圧
水深2mまで
外部より操作可能な機能
撮影・再生時の電源入/切、録画開始/停止、ズーム操作
最大外形寸法
177×173×274mm(幅/高さ/奥行き)
質量
約800g(本体のみ)
付属品

ショルダーベルト(1本)
汎用台座A、B、C、D各1個)
ビューファインダーアダプター(1個)
グリス(GREASE・1個)
くもり止めリキッド(1個)
クッション(2個)
台座シート(1個)
取扱説明書(1部)
保証書(1部)
ソニーご相談窓口のご案内(1部)
水中機材用損害保険のご案内(1部)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとってください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間で す。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています。
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではスポーツバックの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
型名：SPK-TRC
故障の状態：できるだけ詳しく
お買い上げ日

準備

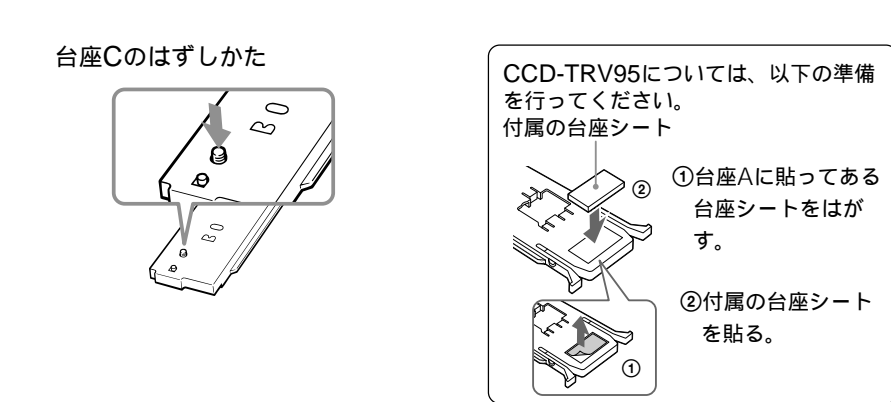
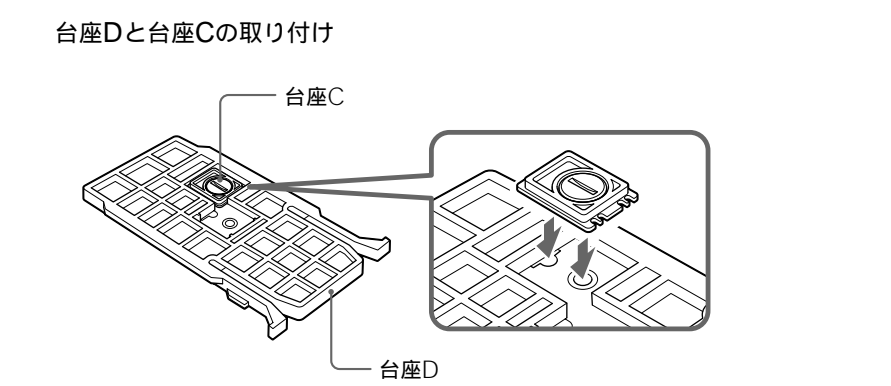
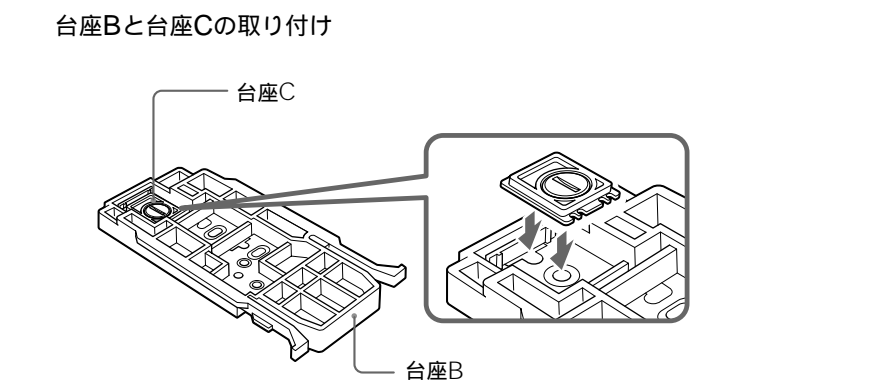
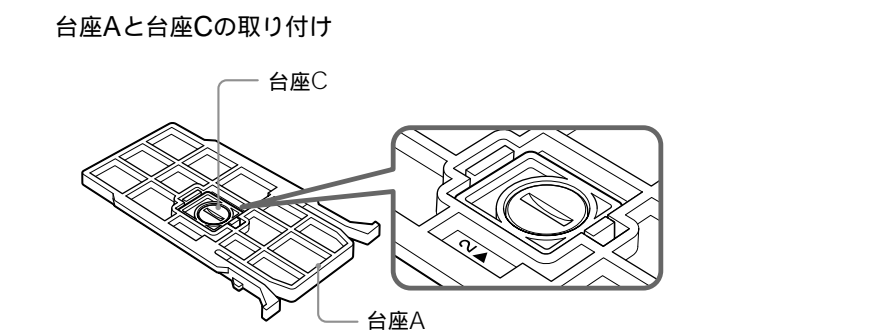
お手持ちのビデオカメラレコーダーに合わせて取り付ける台座を準備します。

- 下の台座表で、お手持ちのビデオカメラレコーダーに合う台座(A、B、またはD)と矢印番号を選ぶ。

- 台座に書いてある矢印番号に合わせて、台座C(コイン大のもの)を取り付ける。

台座	矢印番号	ビデオカメラレコーダー
A	1	CCD-TRV71、TRV91、TRV201
	2	CCD-TR12、TR3300
	3	CCD-TRV95
	1	CCD-TRV30、TRV60
B	2	CCD-TRV11、TR230、TR250、TR270
	3	CCD-TR1、TR2、TR3、TR11、TRV20
	4	CCD-TR555
	5	CCD-TRV101
7	6	
	7	DCR-TRV110*、TRV310
		CCD-TRV66*
8		DCR-TRV220、TRV240、TRV300*、TRV620
		CCD-TR280、TR290、TRV45*、TRV80*、TRV85*
D	1	CCD-TRV92
	2	

*のついた機種では、ビューファインダーアダプターをご使用できません。



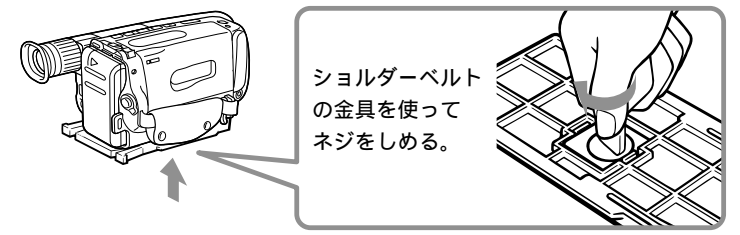
CCD-TRV90をお使いのお客様へ
CCD-TRV90専用台座(3-969-899-01)をソニーサービスステーションにてお買い求めいただけます。本機をご使用いただけます。ただし、液晶画面を使ってのご使用はできません。

CCD-TRV95については、以下の準備を行ってください。
付属の台座シート
①台座Aに貼ってある台座シートをはがす。
②付属の台座シートを貼る。

スポーツパックを使うには

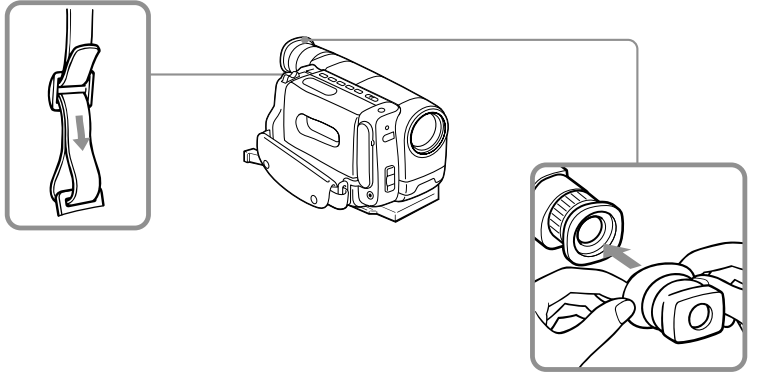
1 台座を取り付ける。

ビデオカメラレコーダーのスイッチ名称などは機種によって異なります。お手持ちのビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



2 ビデオカメラレコーダーを準備する。

- 1 ショルダーベルトやレンズキャップをはずす。
MCプロテクター、NDフィルター、コンバージョンレンズ、特殊フィルターなども取りはずしてください。

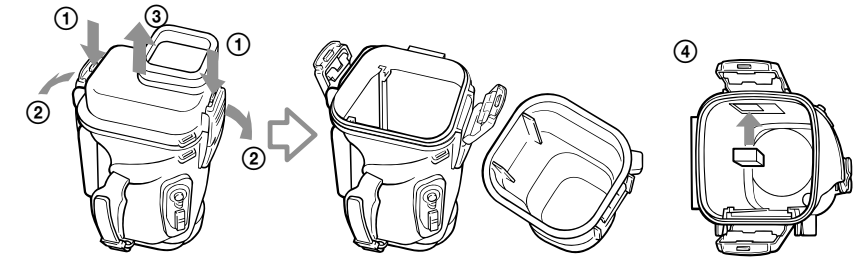


- 2 ビューファインダーアダプターを取り付ける。
ビューファインダーアダプターを取り付けられるかどうかは、裏面の台座表をご覧ください。
ビューファインダーアダプターを取り付けた時にゆるかった場合はビデオカメラレコーダーのアイカップを折り返してから付け直してください。
- 3 バッテリーを取り付ける。
- 4 カセットを入れる。
- 5 液晶付きのビデオカメラレコーダーは、液晶画面を閉じる。
- 6 自動調節にする。
ビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 7 スタート/ストップモードスイッチがある場合は「**止**」にする。
- 8 ファインダーパワーセーブ機能がある場合は「切」にする。

ご注意
ビューファインダーアダプターを取り付けると、ファインダー内の画面を広範囲に見られますが、見る角度によっては画面がゆがみます。

3 スポーツパックを開ける。

- ① ロック解除ボタンを押しながら
- ② バックルをはずす。
- ③ 後部ボディを開く。
- ④ CCD-TRV30、TRV60をお使いの場合は、黒いクッションを、TR12、TR3300をお使いの場合は、グレーのクッションを貼る。

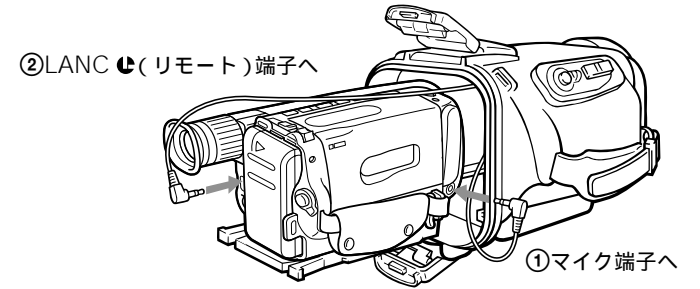


4 砂やゴミなどを取り除く。

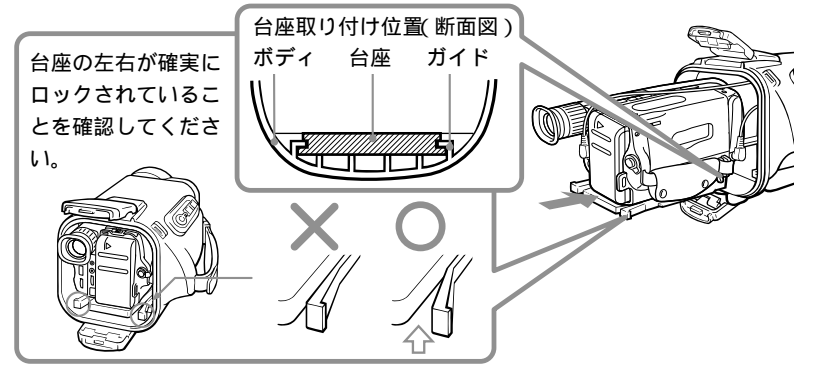
防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、防水パッキンに薄く均一にグリスを塗ります。
砂やゴミが付着したままふたを開めると、傷がついて浸水の原因になります。

5 スポーツパックに取り付ける。

- 1 ビデオカメラレコーダーのビューファインダーを水平にする。
- 2 マイクプラグをマイク端子へ接続する(①)。
リモートプラグをLANC (リモート) 端子へ接続する(②)。



- 3 ビデオカメラレコーダーとスポーツパックを水平に保ち、台座を前部ボディ内のガイドに合わせ、台座の後部を押して、カチッとロックされるまで差し込む。

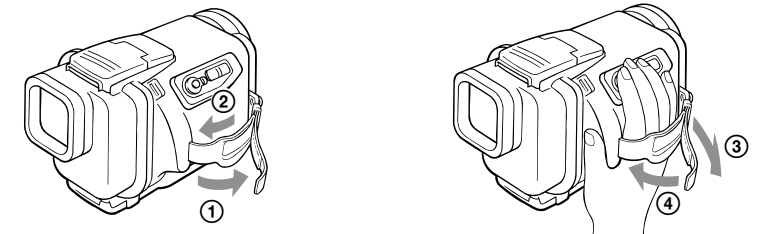


- 4 ビデオカメラレコーダーの電源スイッチを「カメラ」にする。

- 5 後部ボディを閉じる。
①後部ボディを閉じて、しっかり押さえる。
②バックルを、カチッとロックされるまで締める。



- 6 グリップベルトを調節する。



- ①グリップベルトを起こし、
- ②グリップベルトをゆるめる。
- ③電源スイッチやSTART/STOPボタン、ズームボタンを操作できるように手の位置を決め、グリップベルトを引っ張って調節する。
- ④マジックテープで固定する。

- 7 ショルダーベルトを取り付ける。



6 撮影する。

- 1 電源スイッチを「CAMERA」にする。
ファインダー内
スタンバイ
- 2 START/STOPボタンを押す。
撮影が始まります。
ファインダー内
録画
点灯
- 3 撮影を一時的に止めるにはSTART/STOPボタンを押す。
もう一度押すと撮影が再開します。
- 4 撮影を止めるには、START/STOPボタンを押し電源スイッチを「OFF」にする。

ズーミングのしかた

速度が2段階に変化します。
(ビデオカメラレコーダーによっては速さが変わらないものもあります。)
少し押しとゆっくりズーミングし、さらに押しと速くズーミングします。
W側を押し続けると、徐々に広角になります。 T側を押し続けると徐々に望遠になります。

ご注意
• 撮影一時停止状態が5分以上続くと自動的に電源が切れます。バッテリーの消耗を防ぐためとテープを保護するためです。撮影スタンバイに戻すには電源スイッチを「OFF」に戻してから再び「CAMERA」にします。
• ナイトショットを搭載しているビデオカメラレコーダーを本機に収納した場合、ナイトショット機能はご使用になれません。

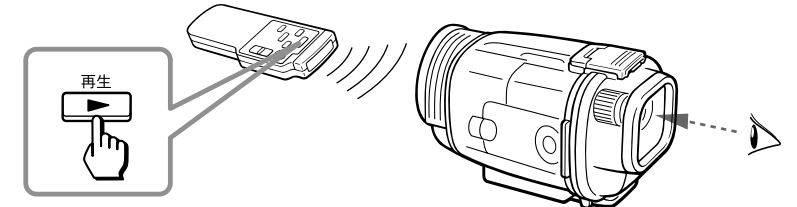
7 リモコンを使って画像を見る。

ビデオカメラレコーダーのリモコンを使うと、ファインダーで、記録した画像を見ることができます。音声は聞こえません。

- 1 電源スイッチを「PLAYER」にする。



- 2 リモコンの▶を押す。

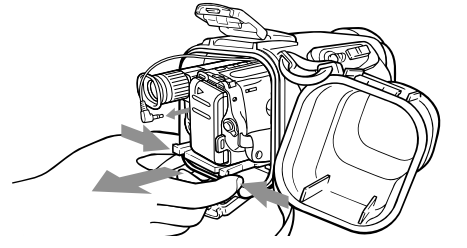


その他の操作(停止、巻戻し、早送り)もすべてリモコンで行ってください。

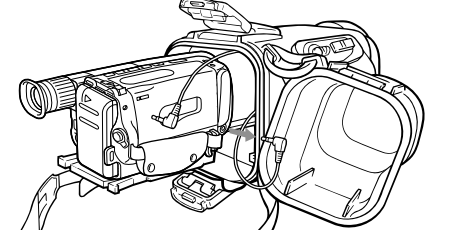
ご注意
ビデオカメラレコーダーによっては、電源スイッチを「PLAYER」にしても操作できません。カメラモードになる機種もあります。

8 ビデオカメラレコーダーを取りはずす。

- 1 バックルをはずして、後部ボディを開ける。
(「3 スポーツパックを開ける。」を参照。)
- 2 ビデオカメラレコーダーの電源スイッチを「切」にする。
- 3 台座の両側のノブを押さえるようにしてつかみ、ビデオカメラレコーダーをゆっくり引き出し、リモートプラグが前部ボディの外に出てきたところでいったん止め、リモートプラグをはずす。



- 4 マイクプラグが前部ボディの外に出てきたところでいったん止め、マイクプラグをはずす。



- 5 ビューファインダーアダプターを取りはずす。
- 6 台座を取りはずす。

